

株式の状況

(2014年3月31日現在)

発行済株式総数 109,663,524株

株主総数 10,955名

所有者別分布状況

外国人

19.01%

20,845,193株
171名

個人

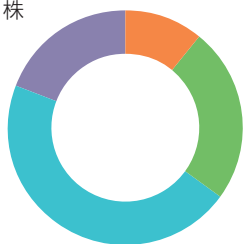
10.87%

11,919,057株
10,574名

その他
国内法人

45.97%

50,411,550株
117名



金融機関・
証券会社

24.15%

26,487,724株
93名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大日本印刷株式会社	20,727	18.90
三井物産株式会社	9,798	8.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,024	5.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,700	4.28
農林中央金庫	4,653	4.24
日本ユニシス従業員持株会	2,800	2.55
CBLDN RE FUND 116	1,935	1.76
ANAホールディングス株式会社	1,794	1.63
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS	1,752	1.59
MSIP CLIENT SECURITIES	1,457	1.32

(注) 上記の他、当社は自己株式15,650,454株(持株比率14.27%)を保有しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 http://www.unisys.co.jp/com/notification ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード8056)

- ◆ 証券会社に口座を開設されている株主様が、ご住所等の変更や単元未満株式の買取その他の各種お手続きを希望される場合は、口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
- ◆ 特別口座で管理されている株式についての各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行にお申し出ください。

特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く)
特別口座に関する 事務取次所	みずほ信託銀行 全国各支店 みずほ証券 全国本支店

Copyright © 2014 Nihon Unisys, Ltd. All rights reserved.

UNISYS

日本ユニシス株式会社

株主通信

第70期 報告書

2013年4月1日~2014年3月31日

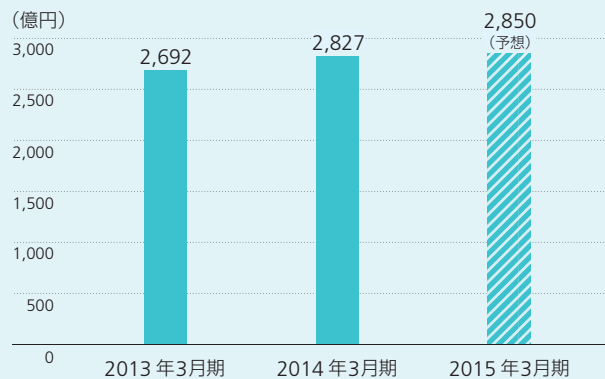


UD
FONT

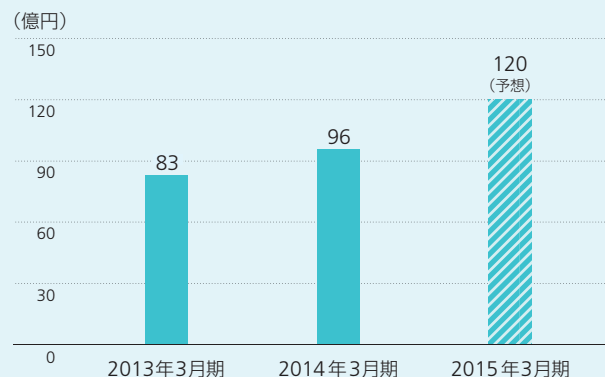
ユニバーサルデザイン
(UD)の考え方に基
づき、より多くの人
に見やすく読みま
ちがえにくいデ
ザインの文字を
採用しています。

業績ハイライト

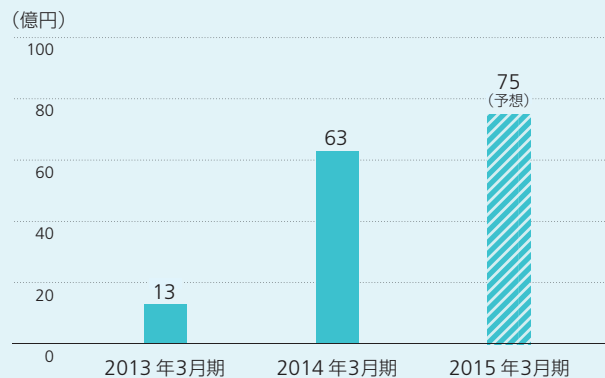
売上高



営業利益



当期純利益



ごあいさつ

コアビジネスを着実に成長させるとともに、
中長期成長に向けスピード感をもって取り組んでまいります。



株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社を取り巻く事業環境は、景気の穏やかな回復により、企業のIT投資にも改善傾向が見られております。このような環境のなか、2014年3月期の売上高は、2,827億円(前期比+5.0%)と中期経営計画を1年前倒しで達成いたしました。営業利益は、96億円(同+15.2%)となり、計画にはとどかなかつたものの、3年連続の増収増益となりました。

2014年1月に、安全性・柔軟性を高く評価いただいている地方銀行向けオープン勘定系システム「BankVision®」がスルガ銀行で稼働開始しました。

同システムの稼働は8行目となります。さらに、2014年3月期には10行目の新規採用が決められました。

2014年3月には、インフラサービスのさらなる強化に向けてユニアデックス(株)と(株)ネットマークスを統合し、新生ユニアデックス(株)が誕生いたしました。「インフラトータルサービス企業」を目指し、高付加価値サービスの提供を通じて、ビジネスを拡大してまいります。

2015年3月期は、中期経営計画の最終年度であるとともに、次期中期経営計画に向けた仕込みの年と考えています。中長期成長に向け、新たなビジネス推進を支える優れた人材の育成や、中長期の社会動向に対応した商材開発に、スピード感をもって取り組んでまいります。

日本ユニシスグループは、今後も事業を通じて社会・株主のみなさまに貢献したいと考えております。みなさまには末永くご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年6月
代表取締役社長

黒川 氏

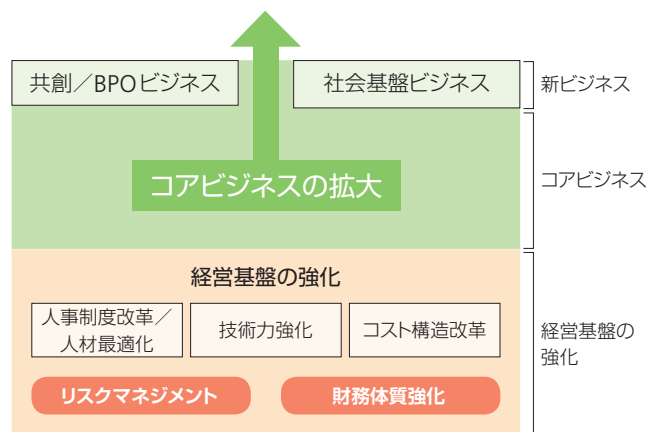
中長期成長に向けて

コアビジネスの展開と新ビジネスへの挑戦を継続するとともに、さらなる成長に向けて取り組んでいきます。

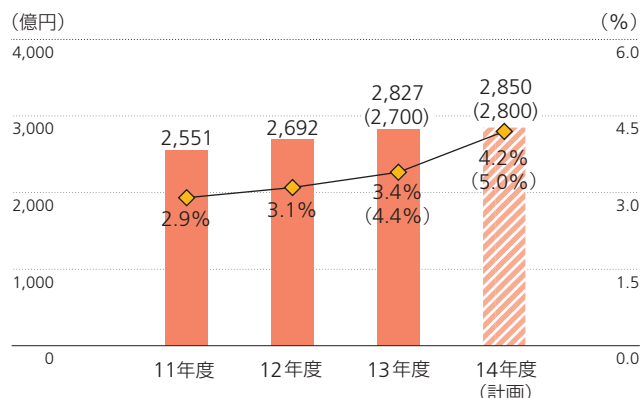
中期経営計画(2012→2014)の進捗

2013年度の売上高・営業利益は、前期を上回る結果となりました。2014年度も計画の達成を目指します。

中期経営計画基本方針



中期経営計画進捗



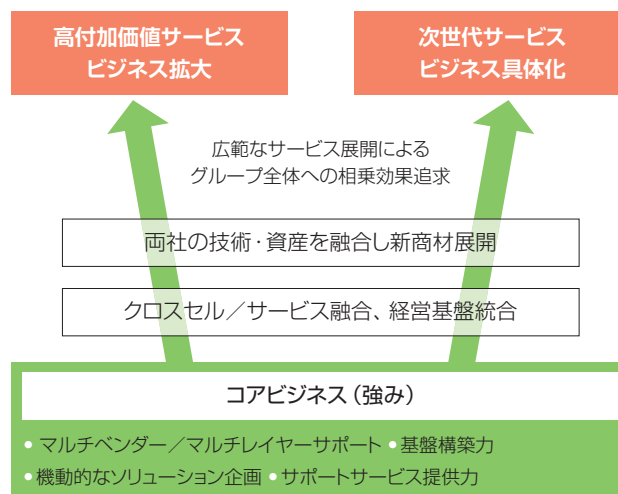
注: グラフの()カッコ内は中期経営計画(2012→2014)の計画値を示しています。

「インフラトータルサービス企業」を目指し、新生ユニアデックス誕生

ユニアデックスとネットマークスは、2014年3月1日合併統合し、新生ユニアデックスが誕生しました。

昨今はお客様からも、データセンターからサーバー、ネットワーク、デバイスまでの一貫したインフラサービスへのご要望が多くなってきています。両社が一体化したことで、この一貫したサービスをより強固に、効率的に提供することが可能となりました。

両社の技術および資産を融合した高付加価値サービスを提供することで、ビジネスをさらに拡大していきます。



スルガ銀行で、次世代オープン勘定系システム『BankVision®』を中核とした新基幹系システムが稼働開始

日本ユニシスグループとスルガ銀行は、日本ユニシスが提供する「次世代オープン勘定系システム『BankVision®』」を中核とする、スルガ銀行の新基幹系システムを開発し、2014年1月5日から稼働を開始しました。

『BankVision®』は、世界で初めてWindows®技術を全面採用した勘定系システムで、安全性・信頼性が高く評価されています。

日本ユニシスは、長年にわたり地域金融機関向けのパッケージを提供しており、特に地方銀行においては長年蓄えられてきたノウハウに基づき数多くの採用実績を持っています。『BankVision®』は、オープン勘定系システムとしては国内シェアNo.1で、スルガ銀行で8行目の稼働となり、さらに新規で10行目が決定しました。今後販売体制をさらに強化し、地方銀行からの新たな受注を目指していきます。

ANAの国内線旅客システムを「世界で初めて」オープンシステムにて刷新・稼働

ANAでミッション・クリティカルかつ大規模な国内線旅客システムを「世界初」のオープンシステムで刷新し、安定稼働しています。

2014年3月期 連結決算のポイント

業績のポイント

企業の業況は幅広く改善しており、国内の情報サービス市場におけるソフトウェア投資が回復しているなか、売上高は2,827億円（前期比5.0%増）となりました。販売費および一般管理費の圧縮に努めた結果、営業利益は96億円（同15.2%増）となりました。当期純利益は、投資有価証券評価損の減少等により前期から51億円改善の63億円（同404.0%増）となりました。

財務のポイント

総資産は現預金やたな卸資産の増加等により前期末比47億円増加の2,025億円となりました。

負債は買掛金の減少やコマーシャル・ペーパーの償還等により、同34億円減少の1,265億円となりました。

純資産は760億円となり、自己資本比率は、36.9%となりました。

2015年3月期 業績予想と配当計画

2015年3月期の売上高は、2,850億円を計画しています。利益面については、営業利益120億円、当期純利益75億円をそれぞれ計画しています。

2015年3月期の配当につきましては、当期純利益見通し75億円を前提に、1株当たり5円増額の年間20円（中間10円、期末10円）を計画しています。

業績の推移

	2013年3月期	2014年3月期
売上高	269,170	282,690
売上総利益	63,545	63,610
販売費及び一般管理費	55,234	54,036
営業利益	8,311	9,574
経常利益	8,315	9,822
当期純利益	1,250	6,305

財務の推移

	2013年3月期末	2014年3月期末
流動資産	124,037	128,361
固定資産	73,742	74,106
資産合計	197,779	202,468
流動負債	76,657	71,268
固定負債	53,205	55,183
負債合計	129,863	126,451
純資産合計	67,916	76,016
負債純資産合計	197,779	202,468

株主還元（1株当たり配当金の推移）



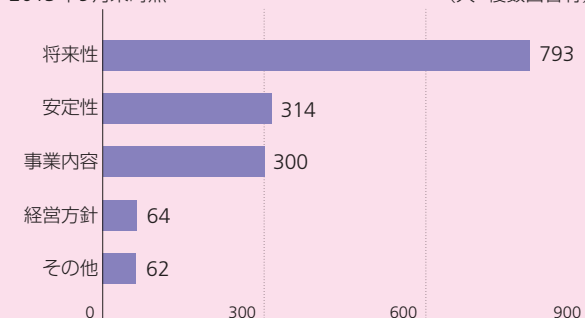
◆ 個人株主のみなさまへ

アンケート集計結果

第70期中間報告書のアンケートにおきまして、1,350名の株主のみなさまから回答をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。みなさまの貴重なご意見・ご要望は、さらなるIR活動の充実のために活かしてまいります。

当社株式ご購入の際、最も重視されていること

2013年9月末時点 (人：複数回答有)



みなさまからのご要望（抜粋）



ANAのオープンシステムのような、「世界で初めて」というビジネスをしてほしいです。

トピックスに記載した「BankVision®」は世界で初めての取り組みです。当社の技術力を活かして、今後も高品質なビジネスに取り組んでいきます。

中期経営計画の進捗などがあれば数値で開示していただきたい。



トピックスに、中期経営計画（2012→2014）の進捗を定量的に記載しています。